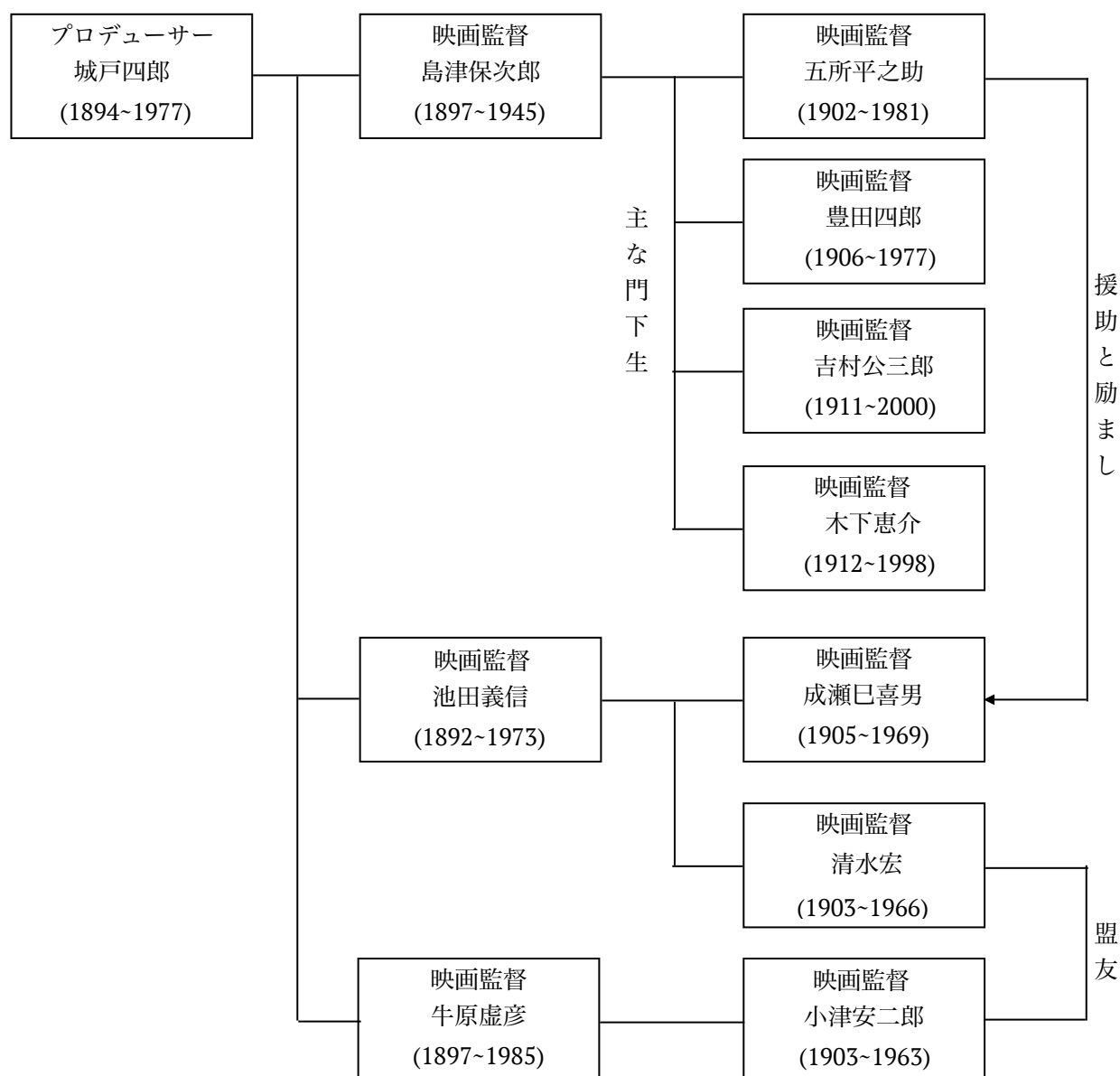


成瀬巳喜男のファンダメンタルズと疑問とその解明 (2)

これまで述べてきたように、島津保次郎という映画監督の存在がいかに大きかったか、下に示した図からも窺えるでしょう。「新派の舞台の延長に過ぎなかった現代劇映画の中で、演劇の模倣から抜け出し、映画の視覚表現と演技の指導を確立した監督の一人だった」と評されます。島津保次郎の偉業は、自らシナリオ学校を開設し新しい作家の育成に力を注いだことと、島津門下として後の日本映画界を代表する監督たちを世に送り出したことでしょう。下図は、松竹蒲田・大船時代のものですが、1939年に東宝に移籍してからも、谷口千吉、佐伯清、関川秀雄といった人材を輩出します。島津保次郎は、敗戦後の1945年9月に四十九歳で亡くなります。



< 松竹蒲田・大船時代の概要 >